

総務委員会

政治倫理の確立のため市長の資産等の公開へ

◆政治倫理の確立のための市長の資産等の公開に関する条例の制定

◆安曇野市長職務執行者の給与及び旅費に関する条例を廃止する条例の制定

◆平成17年度安曇野市一般会計予算

Q ハローワーク安曇野相談所は、旧法務局の場所に新設するときの内容は。

A 常駐3人の体制、駐車場6台程度を確保し、若い人の就職あっせん、仕事さがしに期待したい。

Q 市営バス運行事業は、市の公共交通整備について当局で今後どう考えるのか。

A 信越陸運局からも検討してほしいとの意向もあり、1年かけて委員会で検討していく。

◆平成17年度安曇野市同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計予算

Q 新築資金の滞納解決の見通しはどうか。

A 償還は平成26年で終了。残り23件、1億3,500

万円弱の滞納があるが、解決に努力したい。

◆長野県市町村自治振興組合を組織する市町村の増減について



安曇野市議会の議場は旧堀金村議会の議場を改築したもの

環境経済委員会

穂高地域「しゃくなげ荘」のPFIと温泉活用事業の見通しは？

◆平成17年度安曇野市一般会計予算

Q しゃくなげ荘のPFIを行うために土地の購入費として8,100万円が計上されているが。

A 良質な温泉を満喫できる日帰り入浴施設として、また農業活性化施設「vif 穂高」との連携した施設配置を計画している。環境経済委員会、全員協議会、本会議で十分な検討をふまえて進めていきたい。



しゃくなげ荘の改築に伴って購入予定の土地（現しゃくなげ荘の南）

Q 国庫支出金は今後減ってくるのか。

A 国の補助金制度が変わり、交付税として下りてくる方向に変わりつつある。

◆平成17年度安曇野市国民健康保険特別会計予算

Q 不況の影響などにより滞納世帯は年々増加の傾向である。市の一般会計から国保への繰入を増やし、困窮者を救うことはできないか。

A 国保税はもう少し値上げしないと運営が難しい。急激な負担増は避けるが、一般会計からの繰入は慎重にしたい。

Q 国保の保険証のカード化を望む声強いが。

A 国はカード化の方向で進んでいるが、安曇野市の現状では保険証発行の事務量が多く、すぐには対応できないが検討はしていく。

【PFI：プライベート・ファイナンス・イニシアティブの頭文字を採ったもので、公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという考え方。】

福祉教育委員会

各地域で計画されている図書館の建設計画の見通しは？

◆平成17年度安曇野市一般会計予算

Q 豊科、穂高、三郷、堀金の各地域で図書館の建設計画があるが、全市の見地からの計画の見直しは。

A 市の図書館として施設の在り方を再検討する必要がある。中央図書館としての機能をどうするかも



図書館建設候補地のひとつ・豊科近代美術館の南庭付近

含め、計画の見直しをするため新たに検討委員会の設置も考えていく。

Q 豊科地域の小中学校では学校巡回員を置いているが、全市の学校に拡げていく考えは。

A 豊科の取り組みの効果を見たいうえで、今後の対応を考えていきたい。

Q 三郷と豊科の2箇所に建設と決まった新給食センターは、現施設の老朽化もあり早急に進める必要があるが進捗状況はどうか。

A 2つの給食センターの同時着工を目指しているが、ズレることはありうる。合併特例債の活用を視野に、平成18年6月までに補助金の申請を行う予定。

Q 市となったことで設置された福祉事務所について

A 生活保護への対応や、福祉に関わるさまざまな相談業務など充実し、市民の要望に応じていく。

◆平成17年度安曇野市介護保険特別会計予算

建設水道委員会

公園など全市的な精査が必要ではないか？

◆平成17年度安曇野市一般会計予算

Q 1億1,790万円の市債は、穂高駅周辺地区公園事業の関係か。保育園などの要望も強く出されており、市全体としての位置付けなどの精査が必要ではないか。

A 穂高駅周辺地区公園整備事業で碌山公園を整備するものである。すでに着工している段階であり、優先していく。新規事業は市全体のバランス、必要性等を考え計画していく。

◆平成17年度安曇野市下水道事業特別会計予算

Q 一般会計からの繰入の考え方は。加入負担金については、旧町村のあり方を継続すべきではないか。

A 起債の償還と人件費については一般会計からの繰入に頼らざるをえない。加入負担金については旧町村自体のものを生かしていかなければいけない。基準作りをしていく。

◆平成17年度安曇野市農業集落排水事業特別会計予算

Q 集落排水事業と公共下水道の使用料の格差は。

A 明科は二本立てでやっているが格差はない。旧町村ごとの差は若干の高低がある。

◆平成17年度安曇野市水道事業特別会計予算

Q 水の安定供給について、市全域を一体として考えていく必要はないか。

A 具体的には、これから検討していくことになる。



国営アルプスあづみの公園アクセス道路の行方は？（豊科新田付近）